

■ Q&Aコーナー

ディスプレイの『カチャ』という機械音は？

Q: Townsシステムソフト『ビデオ映像』等のソフトが起動するとディスプレイ装置から『カチャ』という機械音が起きますが、これは機械の異常でしょうか？

A: FM TOWNSのディスプレイ装置は、3種類のスキャンモード（水平周波数：15.73Hz/24.37/31.47）を使えるようになっています。3種類のスキャンモードはディスプレイ装置に内蔵されたスキャンモード切り換え用のリレーによって切り換えるようになっています。この『カチャ』という機械音はディスプレイ装置がFM TOWNSで稼働しているソフトウェアの使用画面モードによって、スキャンモードを切り換える時の「切替え音」です。機械の異常ではありません。

ディスクドライブの設定で“C”ドライブが使えない訳は？

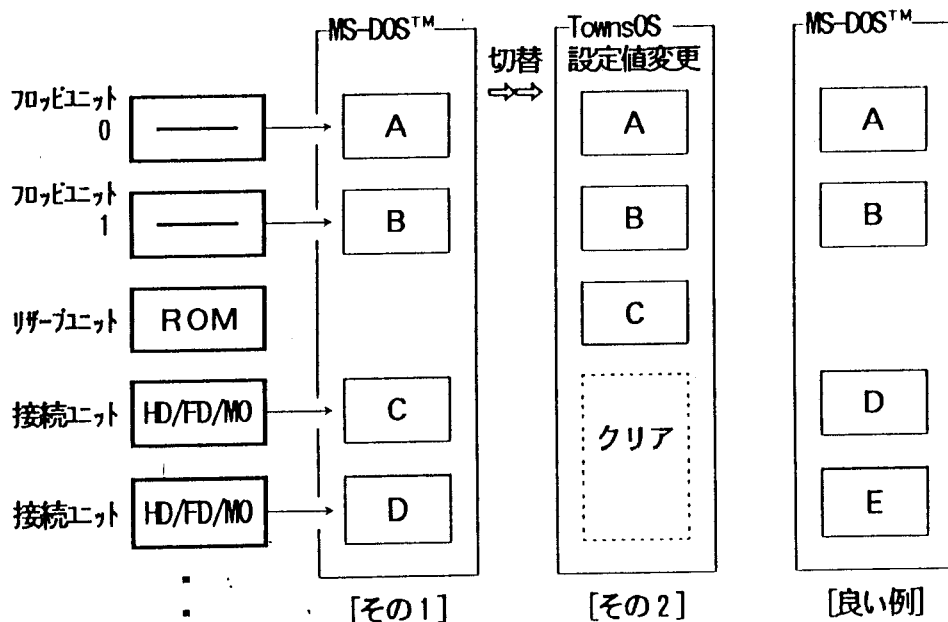
Q: TownsMENUの『ディスクドライブの設定』でディスクドライブを増設する場合に“C”が設定できません。べつに、Cドライブが使えないことで不便はありませんが、なんとなく知りたいので教えてください。

A: 例えばMS-DOS™ではディスクドライブ名をA、B、C、D～と順番に設定しますが、TownsOSではCドライブをTownsOSが内部的に使用する『システムのリザーブドライブ』となっているため、ユーザが使用できません。（ユーザからは設定できないようになっています。）

見えないCドライブは、ROM (Read Only Memory) によるドライブでFM TOWNS本体内部に組み込まれています。これは本体に最初から設定されているフロッピディスクドライブ（A：フロッピドライブユニット0/B：ユニット1）と同様に最初から設定されているドライブです。このROMの中にはMS-DOS™のMSDOS.SYSと同じようなTownsOSのハードウェアを司る機能の部分が書き込まれており、FM TOWNSシリーズの間でソフトウェア互換を実現している重要な役割を担っています。

ただし、MS-DOS™でFM TOWNSを使用する場合は、通常のMS-DOS™と同様に接続したディスクドライブをCドライブから順番に設定することが可能です。このような場合、TownsOSとMS-DOS™は互いの環境を共有しているために、運用上の差し障りが発生する場合があります。TownsOSとMS-DOS™を併用されているユーザの方は以下の点に注意をして、『ディスクドライブの設定』を行ってください。

■ TownsOSとMS-DOS™でのドライブ設定値の共有について



MS-DOS™とTownsOSを併用する場合は、互いのシステムが環境設定値を共有しています。そのため、設定値の仕様に違いのある『ディスクドライブの設定』では、両方の条件を満たす設定を行うようにしましょう。

たとえば、Cドライブの設定が可能なMS-DOS™で左図のような設定を行った場合、TownsOSを起動すると、OSが自動的に環境設定を[その2]のように変更してしまいます。その次にMS-DOS™を起動した時には、C、Dドライブは存在しない状態になります。

MS-DOS™でもCドライブを設定しないことが得策です。